

昭和医科大学烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕広報委員長 真田 建史

〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕03-3300-5231(代表)

第218号

〔2025年10月1日〕

世田谷区立千歳中学校 職業体験

世田谷区立千歳中学校の2年生の生徒3人が令和7年9月17日（水）・18日（木）・19日（金）の3日間来院し、当院にて、職業体験を行いました。

昭和医科大学烏山病院では、医師・看護師などをはじめとした多職種が連携し、至誠一貫の精神でチーム医療に臨んでおり、様々な職種の業務を通じてチーム医療を体験してもらいました。

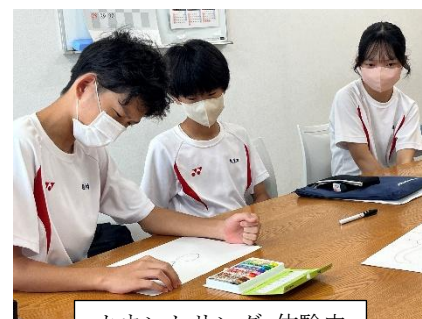
体験についての感想をいただきましたので、ご紹介いたします。



MRI 室見学中



OT の活動体験中



カウンセリング 体験中



後方左から、真田病院長・武田医師
前方は、千歳中学校生徒の皆さん



ストレッチャー体験中



防護服着用体験中

3日間を通じて、印象に残ったこと、どのようなことを学びましたか？

印象に残ったことは、放射線室・MRI室に行ったことです。長崎に住んでいたので、放射線に興味が出ました。3日間を通じて、患者さんと関わったり、いろんな所を見学したり、病院の先生方の話を聞かせてもらったり、たくさんのことを学びました。

千歳中学校 2年生 殿村さん

3日間を通じて、薬局とC3病棟が印象に残りました。薬局ではたくさんの薬を調剤師さんが患者のそった薬を調合していてとてもすごいと思いそんけいしてます。C3病棟では、患者さん第一に行動テキパキ動いていてとても尊敬しました。

千歳中学校 2年生 久保田さん

作業療法士や心理士、デイケアなどで、医師や看護師などとはまた違った関わり方で患者さんを治療しているのが面白く、こんな治療の仕方もあるのだと学べて、印象に残っています。そして、様々な職種の方々が色々なお仕事をしているのを見て、それぞれが大切に重要な役割を果たしているのだと分かりました。

千歳中学校 2年生 福島さん

全体を通しての感想

この3日間いろんなことを経験させてもらったり、知らないことをおしえてくださり、本当にありがとうございました。僕も精神科に興味があったし、とても貴重な経験になりました。人生の財産になりました。とても楽しかったです。たくさん用意をしてくださり、本当にありがとうございました。

千歳中学校 2年生 殿村さん

今回の職場体験で1日目から3日目までとても楽しかったです。1日目は病院についてを学べて鳥山病院についてよく知れました。2日目薬局体験どのように患者に届けているのかがしれてとても面白く、懂れました。3日目ではC3病棟に行き、C3病棟では高齢の方としゃべり珍しい貴重な体験になりました。自分も病院で働くため頑張りたいと思います。3日間ありがとうございました。

千歳中学校 2年生 久保田さん

普段生活している上で、病院の中まで見るできないから、今回の職場体験の3日間、本当に貴重な経験になりました。人を笑顔にしたり、幸せにできるお仕事に就きたいと考えていたので、病院のお仕事にも元々興味がありました。希望通りの職場で体験出来て嬉しかったです。たくさん学べて勉強になりました。3日間楽しかったです。

千歳中学校 2年生 福島さん

新任・異動者紹介

精神科 医師 ^{あきやま} 秋山 ^{さちこ} 祥子

初めまして。専攻医 3 年目の秋山祥子と申します。

出身地は千葉県で、出身大学は新潟大学になります。昨年度は八王子市の精神科病院に勤務しておりましたが、病院側の事情で、今年度からこちらで研修をさせて頂いております。これまでとは違った視点から学ぶことが多く、先生方とスタッフの皆様にも恵まれ、忙しくも充実した日々を送っております。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願いいたします。



精神科 医師 ^{いしはら} 石原 ^{りさ} 里彩

精神科医の石原里彩と申します。3 年ぶりに鳥山病院に戻ってきましたが、多くの患者さんや様々なサポート体制を備えている鳥山病院で診療できることを嬉しく感じています。名前も新しくなった昭和医科大学鳥山病院とともに、自分の診療も常にアップデートしていけるよう、精進していきたいです。宜しくお願い致します。



コラム連載（第 3 回）

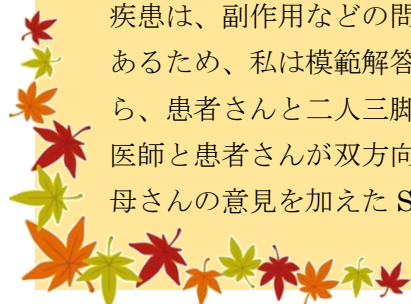
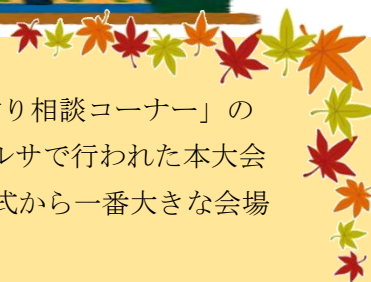
こちらは、当院で働く様々な職種の方に、当院にまつわるお話や、メンタルヘルスに関することなど幅広い形で情報提供をさせていただく企画です。第 3 回は、当院薬局長である、黒沢雅広氏に執筆してもらいました。

お母さんの意見を加えた SDM

昭和医科大学鳥山病院 薬剤部 薬局長 ^{くろさわ} 黒沢 ^{まさひろ} 雅広

先日、第 17 回全国精神保健福祉家族大会・みんなねっと京都大会から「おくすり相談コーナー」の依頼を受けて、京都と神戸から集まった 3 名の仲間と参加してきました。京都テルサで行われた本大会には、当事者、ご家族、関係者などを合わせて 600 名を超える参加があり、開会式から一番大きな会場が埋め尽くされるほどの盛況ぶりでした。

私たちが担当した「おくすり相談コーナー」には、会の合間などの時間帯に主にご家族の方が来られました。相談内容は、ご自身のお子さん（といっても成人）の服用している薬に関して、本人と主治医は今のままで良いと考えているが、母親である私としては、症状が落ち着いているのなら服用する薬を減らしてあげたいと考えているとの訴えがありました。患者さん（お子さん）の様子を一番よく見ているのは母親なので、調子が良い時は薬を減らせたらと思うのは当然のご意見だと思いました。ただ精神疾患は、副作用などの問題が無ければ、現在の服用量を継続した方が再発を回避できるという考え方であるため、私は模範解答の通りにお伝えしました。しかし、母親の思う気持ちも治療に反映させられたら、患者さんと二人三脚で過ごしているお母さんも満足するのではないかと感じました。精神科では医師と患者さんが双方向で治療を決定していくプロセスの「共同意思決定（SDM）」が重要です。お母さんの意見を加えた SDM も、長い道のりを一緒に歩むためには必要なのではないかと感じました。



デイケア活動

(H・R)さん

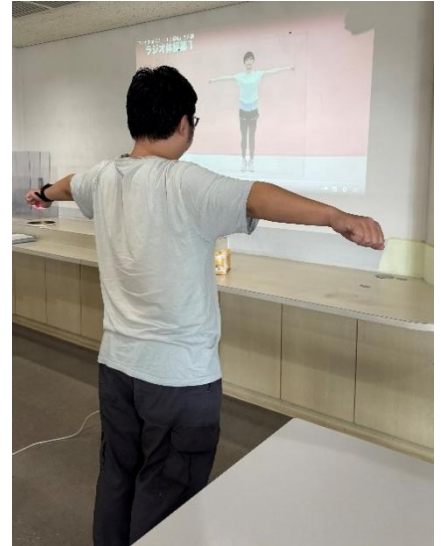
月曜午後に行っているプログラム「みんなの体操」を紹介します。

このプログラムはみんなで一緒に体操を行って健康促進に努めようというものです。

流れとしては最初に体調を確認し、座りながらできるストレッチで体をほぐしたら、ラジオ体操や頭も一緒に使う運動などを行っています。

私の中で印象的だったのはラジオ体操の学びなおしです。動きのポイントをしっかり理解して丁寧に体を動かすと様々な部位をリズムよく伸ばすことが出来て、体操と名乗っていますが、運動前にするのに向いた動的ストレッチの要素もあるなど、感じました。実際に、家で筋トレ・有酸素運動をする前にはラジオ体操を準備運動として取り入れています。また、重点的に運動したい箇所があった場合でもそれ以外の箇所を最低限維持する運動としても取りいれていて、そこにも魅力を感じています。

私は以前、体力不足で躓いたことがあり、それを克服してもっと行動的になりたい、踏み出したいときに踏み出せるようになりたいと思うようになりました。その体力増強のために運動習慣をつけることにしたのです。このプログラムを続けていくことで、就労や余暇を楽しむことのできる体力を手に入れたと思います。



《 8 月 》 入 院(前 月) 外 来(前 月)

◆延 患 者 数 8,876(8,706) 6,171(6,904)

◇一日平均患者数 286.3(280.8) 246.8(265.5)

◆診 療 実 日 数 31(31) 25(26)

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～土曜日 8時30分～17時

電 話：月曜日～土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始



【編集後記】

千歳中学校の職業体験では、生徒たちの真剣な姿に私たちも刺激を受けました。新しく加わった職員の紹介では、それぞれの個性が院内に新しい風を吹き込んでくれるのです。薬局長のコラムからは、日々の業務に対する新たな視点を得ることができました。

やっと猛暑が落ち着き、ようやく秋の気配が感じられるようになりましたが、体調を崩しやすい時期でもあります。くれぐれもご自愛ください。

広報委員 其原 久人



広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。こちら鳥山病院のホームページのQRコードとなります。

ぜひご覧ください。



鳥山病院精神医学講座Instagramが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

